

太原铁路局局长收到一封异国来信 热心车长感动日本旅客

(親切な列車長に日本の旅客が感動～太原鉄路局局長、異国からの手紙を受け取る～)

上記は2011年6月30日付「太原晩報」に掲載された記事の見出しである。同行者の一人が大同駅にリュックを置き忘れた。しかし、鉄路局の方々の尽力で無事、手元に戻った。後日、感謝の気持ちを伝える手紙を鉄路局局長に送った。それが現地の新聞に載ったのである。

「わりい」9月号に「平遥・大同の旅記録」を書いたが、旅行前からお世話になった太原出身の中国語の先生にも顛末を報告していた。その後、事情を全く知らない太原に住む先生のお父さんが記事を目にし、国際電話で話題になった。先生は私のことだとすぐに気づいて、その新聞を手に入れてくださったのである

一部始終は今でもありありと思い出すことができる。山西の旅も終わりに近い6月6日、私たち4人は朝早く大同の駅に着いた。荷物検査をすませ北京西行き列車に乗り込む。3人は中国の寝台車に初めて乗ったので列車内の様子に興味津々だった。車内で落ち着いた頃、一人が、リュックが見あたらないことに気がついた。定かではないが手荷物チェックの検査台に置き忘れた気がするという。中にはかなり高価な電子辞書も入っているというので、ほとんど望み薄とは思ったが、列車の乗務員に伝えに走った。すでに発車5分前である。拙い中国語で訴えると乗務員は、発車するのでもかく席に着き後の連絡を待つようにと言った。

発車後しばらくして、女性の列車長がリュックの形状、色、中味について事細かに質問しに来た。彼女に届いていた情報と合致したのか、話を聞き終わると、リュックが大同駅の手荷物検査台に置き忘れてあり、駅で保管している、と言った。それを知り、なくした本人はもとよりみんなから安堵の声が漏れ、心配顔が笑顔に変わった。列車長に礼を述べると共に、奇跡だ、日本でもこのようなケースでは見つからないことが多い、と思わず言ってしまう。

見つかったのはいいが、さて次はどのようにそれを受け取るか。私たちは日本からの旅行者であり、これから北京

西駅まで行って北京に一泊。翌日朝早くの飛行機で帰国しなければならない。説明を聞いた彼女は、どこでどのように受け取ったらよいかは後で知らせる、安心して待っているようにと言い残してコンパートメントを出て行った。

結局、私たちの列車の到着から4時間後に北京西駅に着く列車から荷物を受け取れるように手配し、到着予定時刻、列車名、号車番号等必要なことを書いたメモを渡してくれた。

列車が北京西駅に着くと、列車長はすぐに北京西駅の駅員に私たちを紹介し、後を頼んでくれた。連絡もスムーズで、その後も順調に運び、その日の夕刻には無事にリュックが持ち主の手元に戻った。

今回の一件では、まず列車長の親切で臨機応変な対応に感激した。発音も四声もますます聞き取る力も十分ではない私の中国語を、列車長は辛抱強く聞いてくれた。私にわかるように丁寧に説明し、「心配ないよ、安心して」と何度も声をかけてくれた。そして、列車長だけではなく、鉄路局で働く人たちのすばらしい連携によってリュックが戻ってきたのである。

帰国後、この気持ちを鉄路局の責任者に伝えたい、皆さんの仕事ぶりに感謝したいと思い手紙を書いた。局長への手紙は次のように結んだ。

「私たちはどう言ってもいいかわからないほど感動しました。今回のことを周りの人たちに話し、あわせて中国鉄路局の皆さまの行き届いたサービスと気高い資質を紹介いたします」

お礼の手紙を書いた後も、北京の友人に手直ししてもらったり、届け先の鉄路局を先生の妹さんに調べていただいたり、中国の皆さんにお世話になった。

この文章が載った「太原晩報」を手にしてみると、不思議な感慨が湧いてくる。感謝の気持ちが伝わったのか、手紙が局長の目にとまったのか、まさか記念の「新聞記事」まで手にするとは・・・。

人と人との不思議な縁を感じて思い出す度に嬉しくなる。いい旅をした。みんなに感謝したい。



太原铁路局局长收到一封异国来信

热心车长 感动日本旅客

本报讯(记者 张艳 通讯员 田)“局长,您好!我是来自日本东京的高桥节子……”28日上午,太原铁路局局长杨绍清收到一封来自日本东京的感谢信。信中,对列车长牛秀霞及工作人员热心帮助高桥节子的朋友竹盖三江子找回背包表示衷心感谢。

本月6日一早,高桥节子与3位朋友结束了美好的山西之旅,登上了由大同开往北京西的K616次旅客列车,准备次日经北京返回日本。当日8时28分,距离开车只有5分钟的时候,高桥节子的朋友竹盖三江子突然发现随身携带的背包遗失了。情急之下,朋友中唯一懂

▶「太原晩報」掲載の全文は、こちらから閲覧できます。

<http://www.xplus.com/papers/tywb/20110630/n46.shtml>